

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

基本方針 1 市民活動に関する情報収集・提供

実施施策 1	紙媒体による情報提供の充実	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">小学生への町内会活動啓発冊子を作成したことで、町内会活動の周知が若い世代にもできた。また授業で取り上げ、実際の活動者に話してもらう機会を設けていることで理解が進み、今後地域で活躍してくれる人が増えることが期待できる。広報で市民協働の特集を組んだり、センターだより、フリーペーパーへの情報掲載を行ったりと評価できる。また、豊川市のセンターだより全戸配布は、市民への啓発となっている。企業紙への掲載促進、定年退職者向けのボランティア啓発冊子の作成等、良い企画であるので進めてほしい。簡単な適正診断シートにより、ボランティアへの意識啓発へとつなげることができている。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">企業紙の情報を調査し、今後企業への協働の意識啓発も併せてする。また、既存の情報掲載を継続させ、新たな情報誌へ拡げることが必要。定年退職者向けボランティアの啓発、周知が弱い。小学生向け冊子を継続させること。出前講座の継続。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策2	インターネットなどの効果的な活用	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">• Facebook・Twitter等、SNSを活用した情報発信ができています。• インターネットの活用により、参加希望者の手間を省くことができている。また、申し込み易い環境ができたことで参加しやすくなり、若い世代の参加のきっかけとなっている。• 市民が広報リポーターとして情報提供できるしくみをつくり、市民の目線で情報発信ができる。• ボランティア・市民活動センターのホームページがリニューアルされたことで見やすくなった。また、楽しそうなイベントを行っていると感じた。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">• 各課から情報収集を行い、各課の協働推進員から報告をしてもらう仕組みを徹底する。• インターネットが広く普及している割には、まだまだ上手に活用されているように感じない。見てもらわないことには広がらないという点があるため、見たいと思ってもらえる仕掛けを検討できるとよいと思う。特に若年層の取り組み活躍を期待する。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成

実施施策1	担い手の育成と活用	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">・若年層ボランティア体験講座の体験事業数が増えたことで、活動する選択肢も増え、幅広く活動することができる。また、まちづくりに興味を持つことで、早いうちから担い手を育成できる。・コミュニティリーダーについては、今後も地域になくてはならない養成であるため、しっかりと行ってほしいと感じる。また、参加者も多いため、地域での取り組みにつながることを期待したい。・多くの養成講座・研修を継続開催し、地道に成果を感じる。また、受講者は全体的に増えてきており、講座受講後には加入や登録に繋げることができた。（情報発信、ボランティア）・地域を巻き込んでの活動ができている。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・保健センター・防災対策課の講座について、参加者が少ない。特に防災ボランティアのフォローアップについては、内容の見直し、また、事務局を委託している社協と連絡調整を適宜して、参加者の検討などすることが必要。このような人材育成も企業との協働で開催する工夫はできないかを感じる。・講座によっては受講生の集まりの悪いものもある。開催方法の検討が必要ではないか。・受講後の活動につながりやすいように、受講者が体験したことを今後どのように活用できるか、フォローを含め、受講者の今後の取り組みを知る必要もあると思う。・町内会においては地域により格差がある。・働いている世代への働きかけや周知が必要。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策 2	協働意識の醸成	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">・「協働ガイド」によって協働がより分かりやすくなり、それが出前講座や職員研修に活用されることで、積極的に意識醸成ができています。また、「協働ガイド」の作成は、広く市民に協働の必要性を考えるのも良いものにとらえる。・様々な研修を開催し、多くの方々が参加できたこと。・市の職員（新採用職員・5年目の職員）に対する研修により、協働性への意識啓発ができています。・市の各課に市民協働推進員を設置したことで、どの課でも協働を進める体制づくりができています。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・協働ガイドの周知を今後も意識改革していく必要がある。・全庁から選任された55名の活動が見えない。・意見交換会・研修会等を通じて提供された課題を今後どのように検討し、より良いものにできるのかが大切になると思う。・団体交流会は参加がもう少し広がっていくといいと思う。・効果が見えにくいので、継続していくことが必要。・企業向けのボランティアの講座をほかの企業にも広げていけないか。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

基本方針3 市民活動団体の支援

実施施策1	活動拠点の充実	委員会評価	3
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">市民活動センターが土曜日に相談窓口を開設したことにより、利便性の向上が図れていると感じる。周知が進み、利用が増えるといい。施設の整備事業の補助、公共施設の利用料金減免等、活動支援も評価できる。また、市民活動への支援については、他市より充実している。運営委員会設置により、団体からの意見集約もできた。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">市民活動センターの土曜窓口の周知を行い、利用者数を増加させる。新たな活動拠点の調査・発掘等、まだまだ未実施だったり、周知が不足してうまく展開できていないが、良い知識を出し合って一歩踏み出せると良いと思う。整えられた環境の周知が少ない。空き店舗の登録制度が今後進んでいき、地域活動等に活用できるようになるといいと思う。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策2	財政的支援などの充実	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会応援事業所制度が初年度で目標に近づく数になった。事業所と町内会のどちらにもメリットがあるいい制度ができたと思う。 ・とよかわ応援寄付金・クラウドファンドの活用等、さまざまな形で支援を行っており評価できる。 ・様々な取り組みが実施され、補助金額も大きい ・色んな課がまちのためになんとかしたいという思いが伝わってくる。 ・市民協働補助金を提案することで、財政のみでなく、団体活動の支援にもつながった。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働推進事業の申請がまだ少なく、高齢化社会に進んでいる中での老人クラブの加入者数の減少、補助金事業の中身と金額のバランス等、今一度考えることも必要である。 ・市民活動団体から協働補助金が提案できるような流れがあると良い。 ・空き家対策については、調査がされているかと思うが、今後まちづくりにおいて課題であると感じるので、税制的支援がどのくらい必要なのかも検討し、的確に支援できると良い。 ・周知の十分でない事業もあるようなので、多くの団体に活用してもらえそうな工夫が必要と感じる。 ・ゴミ拾いへの補助ではなく、ゴミを捨てない・見かけたら拾う人を育成するべき。 			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策3	人的支援の充実	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">• スキルアップ講座を開設して、参加した人及び、活動団体の知識・技術が向上できたことは評価できる。継続して取り組んでいくとよい。• リーダー養成講座は的確に開催できた。• 知識向上のための講座を開催し、防犯ボランティア団体への効果的な活動の向上を図ることができた。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">• コーディネーター養成講座については、防災以外の分野でも必要ではないかと思う。フォローアップのみであったので、元年度に期待したい。• 講座の内容は良いと思うが、参加者が少ない講座もみられる。情報発信の強化など参加の呼びかけも今一度考えることが必要。また、人材バンクの設置、アドバイザー派遣制度の調査・研究も進めて、よりよい人的支援ができると良いと思う。• リーダー養成後活躍していただける仕組みができていないものについては、方策を検討し、養成後周知徹底する。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

基本方針4 市民協働推進の仕組みづくり

実施施策1	推進・連携体制の整備	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">・町内会同志の交流を図ることにより、町内会の活性化につながっている。(諏訪1部町内会・新町町内会)・市民協働推進員の設置・市民活動団体、町内会、企業へマッチングの仕組みづくりで一步踏み出せたことは評価できる。また、新しく「協働ガイド」を作成でき、市民が協働という言葉を目にする機会が増えた。・各課単位で1名の市民協働推進員を配置し、全庁的に協働を推進する体制を整えることができた。・審議会への登用については、おおむねできており、協働体制についても整備できている。・お互いの得意分野を活かして行えているところがよい。・団体から行政への提案ができる制度があり、有益な催しができた。今後、広がっていくとよいと思う。・穂の国まちづくり塾講演会に対して非常に多くの受講生が参加したこと。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティの形成を図るための協働体制づくりを今後推進していく必要がある。・マッチングの仕組みづくりでは、必要としているところがまだまだたくさんあると思うので、少しずつでも良いので交流の輪が広がってほしい。・「協働ガイド」を目にするようになったが、手に取って読むところまではいっていないのではないか。・市民協働を拡げるための人選や入れ替えが必要。・各課での活動と市役所全体の連携が強化されるか期待している。			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策2	協働事業の評価・公表	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none">・事業の評価・公表については、計画通り執行できた。・とよかわ市民協働推進計画ができたことにより、「地域と行政がしっかりと支えているまち」に近づいている。・協働事業を市のホームページで広く公表することができた。・「とよかわ市民協働推進計画」の実施事業評価の方法が改善されたことは高く評価する。 <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・周知、認知の拡大。・今後も広く市民に協働事業を理解してもらえよう、継続をお願いします。・個々の評価が薄れている。			